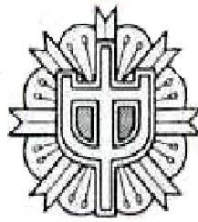


光一中だより

教育目標

- 自主的に学び、考え、実行する人
- 心豊かで、ともに助け合う人
- 健康で、勤労を愛する人



練馬区立光が丘第一中学校

校長 豊田 貴志

令和7年度 第2号

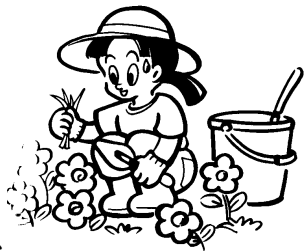
令和7年5月12日

「^{はちじゅうはちや}八十八夜と運動会」

校長 豊田 貴志

「夏も近づく^{はちじゅうはちや}八十八夜～♪」は手遊び歌としても知られている、初夏の茶摘みを歌った歌唱曲「茶つみ」です。歌詞に出てくる「八十八夜」は日本の季節を表す^{ざっせつ}雑節のひとつです。季節を表す言葉は^{にじゅうしせっき}二十四節気が有名ですが、私たちの日常生活にも雑節は入り込んでいます。雑節には「八十八夜」の他にも、暴風雨があるとされる「^{にひゃくとおか}二百十日」などもありますが、これはあまり知られていないかもしれません。それよりも「^{ひがん}節分」、^{にゅうばい}「土用」、^{こよみ}「彼岸」、^{こよみ}「入梅」などの方が全国的には比較的知られているような印象です。

「八十八夜」は立春（2月4日頃）から数えて88日目（5月2日頃）をいい、新茶摘みの時期であるとともに、農作業の目安としても重要な日とされ、種まきの目安ともいわれています。今年2025年の「八十八夜」は5月1日でした。ちなみにこの学校だよりが発行される頃には立夏（5月5日頃）を過ぎているので、^{こよみ}暦の上では夏を迎えることになります。種をまき、たくさんの雨と夏の陽ざしを受け、すくすくと作物が育っていくように、私たちも人としての成長を期待したい季節です。



毎年光一中では、5月は運動会準備のシーズンです。運動会は「個人」の力はもちろんですが、「集団」としての力をのばす絶好の機会と考えています。皆さんの団結力や協力する姿勢、そして思いやりの心が表われる『団体種目』に今年は特に注目してみたいと考えています。クラスには運動が得意な人だけではありません。ひょっとしたら運動会が憂うつな人もいるかもしれません。運動の得意・不得意にかかわらず、クラスにいる誰もが前向きに頑張れる運動会であって欲しい。だとすれば各クラスの練習の雰囲気はどうしたら良いものにできるか、そんな視点が大切になりそうですね。声のかけ方、できなかったときの反省の仕方、前向きに取り組めるクラスであるためには、皆さんの知恵と思いやりが必要です。

「八十八夜」が過ぎました。クラスでまいた団結の種は、練習期間を経て、どのように運動会本番で咲き誇るでしょうか。今年も皆さんの活躍を期待しています。誰にとっても思い出深い、素敵な日になることを願っています。

